

# 『熊本県公共施設等総合管理計画』の改訂について

## 背景

- ▶ 平成28年熊本地震、令和2年7月豪雨、国土強靱化の県債償還が本格化する中、公共施設等の老朽化対策など必要不可欠な歳出に加え、半導体関連産業の集積に伴うインフラ整備など本県特有の歳出も増加するなど、本県の財政運営は厳しい状況にある。

## 趣旨

- ▶ 厳しい財政状況に応じたファシリティマネジメントをより一層推進し、適切な維持管理と費用の縮減を図る。
- ▶ 本計画に基づき、県有財産を総合的に企画、管理、活用し、最適な財産経営による財政負担の軽減と効率的活用、長寿命化を推進する。

## これまでの改訂



## 主な改訂内容

「区分」	内容
施設等の維持管理に係る <b>取組内容を強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厳しい財政状況を踏まえ、維持管理費の平準化や縮減及び長寿命化を図るため、日常的な点検の徹底や事後保全から予防保全への転換、PPP/PFI等の民間活力の活用をより一層進める</li> </ul>
「 <b>県立大学</b> 」を対象に追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立大学において、「熊本県立大学インフラ長寿命化計画」を策定したため、本計画で位置付ける個別施設計画に追加</li> <li>・ 本計画及び個別施設計画に基づき、効率的な活用・保全を図る</li> </ul>
「 <b>畜舎等建築物</b> 」を対象に追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林水産部において、「畜舎等建築物個別施設計画」を策定したため、本計画で位置付ける個別施設計画に追加</li> <li>・ 本計画及び個別施設計画に基づき、効率的な活用・保全を図る</li> </ul>

※ 取組内容の強化及び対象施設の追加のみのため一部改訂として取扱い、計画期間及びその他の内容は前回(令和4年(2022年)3月改訂)内容を引き継ぐ。